

位置の線航法【LOPフォーム(北極星、太陽、月、惑星、恒星 共通フォーム)】

惑星: 水星(Mercury)、金星(Venus)、火星(Mars)、木星(Jupiter)、土星(Saturn)
 恒星: 57恒星 (Star Finder)

Parameters		計算手順	POLARIS 【北極星】	SUN, MOON, Planets 【太陽, 月, 惑星】	Stars 【恒星】	計算値		
DR-UT-DEC (推定位置、世界時間、赤緯)								
0	BODY / BEARING	天測する天体の名前と方位角	○	○	○	/		
1	DATE	DR位置における地方 年月日	○	○	○	Y	M	D
2	DR LAT	天測時におけるDR緯度	○	○	○	°		
3	a LAT (PLOT)	DR緯度を1°単位に丸めた仮定緯度(プロット起点の緯度)	○	○	○	°		
4	DR LONG	天測時におけるDR経度	○	○	○	°		
5	LOCAL TIME	地方時における天測時刻	○	○	○	h	m	S
6	+/- ZD	タイムゾーン時差(東経、西経+)	○	○	○	+/-	h	
7	GMT	天測時のグリニッジ時 [5+/-6]	○	○	○	h	m	S
8	dec (hour)	天測暦から求めたDEC	○	○	○	°		
9	+/- Δdec	【太陽, 月, 惑星】 +/- 天測暦の時間補間表の d の分位	○	○	○	d=	↑ ↓	
10	DEC (hour, min)	改正後のDEC [=8+9] 【月】 HPを記録しておく 【恒星】 天測暦当日頁の右側に掲載された当該恒星から求める	○	○	○	(月:HP=)		
LHA of Bodies (天体の地方時角)								
11	SHA 【Star】	【恒星】 天測暦当日頁の右側に掲載された当該恒星から求める 天測計算表HO249 Vol 1を使う場合は、以下の計算には使わない	○	○	○			
12	gha (hour) 【Polaris, Stars】gha T (hour)	天測暦から[7]のGMTに対して求めた毎時のGHA 【北極星, 恒星】 天測暦から[7]のGMTに対して求めた春分点のGHA	○	○	○			
13	+ Δgha α(mins/sec)	天測暦の補間表から求めたGHAの分、秒に対する補正值 【北極星, 恒星】 春分点の分・秒補正值	○	○	○			
14	+/- v/d correction	【月, 惑星】の補正值 (v の補正值)	○	○	○	v=	+/-	
15	TOTAL GHA 【Polaris, Stars】TOTAL GHA T	グリニッジ時角 [=12+13+14] 360より大きい時は-360とする 【北極星, 恒星】 春分点のグリニッジ時角	○	○	○			
16	+/- aLONG (PLOT)	[4]DR経度を参照して、[17]を1度位に丸めるように、東経は加え、西経は引く 【北極星】 [=4] 度分値を東経は加え、西経は引く	○	○	○			
17	LHA 【Polaris, Stars】LHA T	地方時角 [=15+/-16]を1度の位に丸める、16が(-)の時は360を加える 【北極星, 恒星】 春分点の地方時角	○	○	○			
SEXTANT CORRECTIONS (六分儀による観測高度)								
18	hs	六分儀高度	○	○	○			
19	+/- IC	器差改正	○	○	○			
20	- DIP	眼高改正、天測暦A2表 【月】:表xxxiv	○	○	○			
21	APPARENT ALT.	視高度 [=18+19+20]	○	○	○			
22	+/- STAR CORR.	高度改正、天測暦A2表 【月】:表xxxiv U (上弦)の時は-30'	○	○	○			
23	+/- ADD'L CORR.	追加改正、天測暦A4表 【月】:HP値を表xxxiv, 【金星, 火星】:天測暦A2表	○	○	○			
24	H _o	真高度 [=21+22+23]	○	○	○			
HEIGHT computed and INTERCEPT (計算高度と修正差)								
25	H _c	aLATとDEC, およびLHAの値を使って得る 【太陽, 月, 惑星】 天測計算表 HO249 Vol 2, Vol 3 【恒星】 天測計算表 HO249 Vol 1	○	○	○			
26	+/- Δd	DECの分値と[25]で得たd値をもとに天測計算表の表5を使用して得る	○	○	○	d=	/	
27	H _c	計算高度 [=25+26]	○	○	○			
28	H _o	真高度 [=24]	○	○	○			
29	INTERCEPT (PLOT)	修正差 [= 27-28] H _c >H _o の時はプロット起点から(-)する	○	○	○			
30	Zn	天体の方位角 【太陽, 月, 惑星】 [25]で得た天測計算表のZ値 北半球 LHA > 180° : Zn = Z / LHA < 180° : Zn = 360° - Z 南半球 LHA > 180° : Zn = 180° - Z / LHA < 180° : Zn = 180° + Z 【恒星】 [25]で得た天測計算表のZn値 天測計算表 HO249 Vol 1 EPOCH 経年誤差改正を行うこと	○	○	○			
31	H _o	[=24] 真高度	○	○	○			
32	a ₀	LHA [=17] (地方時角)の改正(ポラリス表の最上段部から)	○	○	○			
33	a ₁	Lat(高度)の改正(ポラリス表中段部から)	○	○	○			
34	a ₂	Month(月)の改正(ポラリス最下段部から)	○	○	○			
35	Less 1 degree	(-1°) [31]から[34]までの合計から1°引く	○	○	○	-1		
36	LATITUDE	北極星高度 [=31+32+33+34-1°]	○	○	○			